令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜前期募集）

専門科目「学校臨床心理学」（１／２）

学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修

以下の注意事項をよく読み，次頁からの問題に解答しなさい。

注意事項

①　この試験問題の構成と配点は以下の通りである。

問題１から問題４：〔２頁〕
４つの問題の中から２つの問題を選んで解答すること。
配点は，１問あたり１００点。２問で２００点。

②　解答用紙の（　）のなかに，選択した問題の番号を記入すること。

③　答案が解答用紙に書ききれなくなった場合は，当該の解答用紙の裏面に続けて書くこと。

④　２枚の解答用紙のそれぞれに受験番号を記入すること。

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜前期募集）
専門科目「学校臨床心理学」（２／２）

問題１.

ハーシ，T. は著書『非行の理論』において，非行に関する分析視点として，「緊張理論」「コントロール理論」「文化的逸脱理論」の３つの立場を挙げている。この３つの立場それぞれについて簡単に説明し，この中から１つの立場を選び，その中の代表的な理論を紹介し，その臨床的な応用について，論じなさい。

問題２.

社会的な困難を抱えるマイノリティ（社会的少数者）と呼ばれる人々の例を３つ挙げ，これらの人々に関する理解や支援を促進するための学校教育における取り組みの現状と課題について論じなさい。なお，学校教育における取り組みの現状と課題については，３つの事例ごとに分けて論じてもよいし，それらを総合して論じてもよい。

問題３.

アンダーマイニング効果について説明しなさい。さらに，子どもと周囲の大人（教師，親・保護者等）の関わりの具体例を挙げてアンダーマイニング効果を説明し，その具体例に沿って，アンダーマイニング効果を生じにくくするための周囲の大人（教師，親・保護者等）の関わり方の留意点を論じなさい。

問題４.

次の文章は，池上英子著『ハイパーワールド：共感しあう自閉症アバターたち』から引用したものである。文章を読んで，自閉症の人たちにとって，なぜコンピュータを通じた仮想空間はとても馴染みがよく，仮想空間でさまざまな自閉症の人たちがアバターとして活動しているのか（下線部参照），その理由について論じなさい。

著作権の都合により公開できません。

（出典 池上英子 『ハイパーワールド：共感しあう自閉症アバターたち』 NTT 出版，2017 年）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜前期募集）
解答用紙（１／２）

専門科目「学校臨床心理学」

学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修
受験番号　（　　）

得点 ／１００点

選択した問題の番号：（　　）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜前期募集）
解答用紙（２／２）

専門科目「学校臨床心理学」

学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修
受験番号　（　　）

得点 ／１００点

選択した問題の番号：（　　）